

An aerial photograph of a sprawling city, likely Tokyo, with a dense concentration of buildings and skyscrapers. The image is overlaid with a blue-tinted network of white dots and lines, suggesting a digital or technological theme. The text is centered over the lower half of the image.

デジタル・トランスフォーメーション

台東区DX推進計画

令和8年3月 台東区



あしたへ

江戸の昔、「花の雲 鐘は上野か 浅草か」と詠まれたわたくしたちのまち台東区には、磨き抜かれた匠の技や気さくで人情あふれる暮らしが、今もあちらこちらに息づいています。

わたくしたちは、先人が築いてきた文化や環境を大切にして、伸びゆく住みよいまちを目指し、この憲章を定めます。

たからものを うけつぎ こころゆたかな まちにします
おもてなしの えがおで にぎやかな まちにします
おもいやり ささえあい あたたかな まちにします
みどりを いくしみ さわやかな まちにします
いきがいを はぐくんで すこやかな まちにします



(平成18年12月14日 告示 第688号)

台東区DX推進計画 策定にあたって



台東区では、情報通信技術が急速に進展するなか、高度情報化社会に対応した質の高い行政サービスを展開するため、平成13年に台東区情報化推進計画を策定しました。その後も、技術革新等による社会環境の変化やその時々行政課題に対応するため、本計画を改訂しながら、着実に情報化を進めてまいりました。

昨今、AIやIoT、ロボットなどのデジタル技術が社会全体に浸透しています。それに伴い、私たちの生活や働き方が便利で快適なものへと変化するとともに、行政サービスのあり方についても、デジタル化への変革が求められています。

また、急速に進化するデジタル技術は、深刻化する人手不足を補う手段としても大きな期待が寄せられており、あらゆる業界・業種でデジタル化の動きが加速化しています。

本区においても、地域課題や区民ニーズの複雑化・多様化により、行政需要は増大する一方、その対応にあたる人材の確保は年々厳しくなっています。このような状況においても、本区が持続的な発展を遂げるためには、全力でDXを推し進める必要があります。

この度の改訂では、DXの推進を主眼とした施策・取組を位置付け、基本理念に「デジタル台東～DXの推進で豊かな暮らしの実現」を掲げています。デジタル技術を最大限活用して、便利で快適な行政サービスの提供に取り組むとともに、業務の一層の効率化・省力化を進め、創出される人的資源等を区民の豊かな暮らしの実現につなげてまいります。

今後も、社会状況の変化を的確にとらえながら、デジタル技術などあらゆる手段を積極的に活用して、区政の進展に邁進してまいります。

結びに、皆様のご理解とご協力をお願い申し上げますとともに、本計画の策定にあたり、貴重なご意見をお寄せいただいた区民の皆様に、心から御礼申し上げます。

令和8年3月 服部 征夫